

令和5（2023）年度 学校と地域の連携推進セミナー② 実施報告

実施日：令和5年7月14日（金）

当セミナーは、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」のそれぞれの視点から、学校と地域が連携・協働した活動に携わる際に必要な知識や技術の習得を目指すことをねらいとしています。

第2回はコミュニティ・スクール（CS）の推進と学校の魅力化に関する基本的な知識・技術を得ることを目的として実施し、行政関係者や教職員、地域コーディネーター等28名の方が参加しました。

○ 講話「地域ぐるみでどんな学校を創りたいか どんな力を育むか ～学校と地域の協働が創る未来を応え合う～」

文部科学省総合教育政策局政策課企画官 廣田 貢 氏

廣田先生は文部科学省へ入省後にキャリアを積み重ね、平成22年には岡山県教育庁生涯学習課長を務めました。平成27年には「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」をとりまとめるなど、学校と地域の連携・協働やCSの推進等に造詣が深い先生です。

今回は、廣田先生から子どもたちの生きる未来と必要な力、学校と地域の協働をどう進めるか、学校と地域の連携・協働を進める上で大切にしたい視点等についての話や、CSに関する全国の事例の紹介がありました。受講者は、「なぜ学校と地域の連携・協働が求められているか？」、「CSにどんなメリットがあるか？」、「学校と地域が一つになって取り組んでみたいことは何か？」について考え、グループで協議を行いました。最後に、マイチャレンジ（私の一歩）として、子どもたちの豊かな学びと育ちを生み出すために、受講者が踏み出したい一歩をワークシートに書き出し、受講者同士でそれを見せ合い、今後の活動につなげるために意識を高め合いました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・地域コーディネーターを務めていますが、廣田先生の講話を聴き、勤務校の先生方ともう少し対話をする必要があると思いました。また、たくさんのことを学ぶことができました。
- ・校長先生が学校の課題・問題などをオープンにすることができる「学校運営協議会」にすることが重要であると理解しました。私は行政職員ですが、導入した学校の学校運営協議会が形骸化しないように、研修の企画・運営面で頑張ろうと思いました。
- ・学校と地域の対話の重要性を改めて理解しました。今後はビジョンを共有し、共に活動することができたらと思います。
- ・CSを自分事として考え、今後どのように関わり、行動していくかが大切だと思います。そのことに気づいた廣田先生の講話でした。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

